

トマス・ホッブズ『リヴァイアサン』（1651年）初版Head版の比較検討
—透かし模様¹（watermark）を中心として—

Comparative Study of Thomas Hobbes, *Leviathan* (1651) Head Edition

名古屋大学大学院経済学研究科 招へい教員
Visiting Faculty Member, Graduate School of Economics, Nagoya University

松 波 京 子
MATSUNAMI, Kyoko

Abstract

This paper reports on a survey detailing the watermarks of some copies of the ‘Head’ edition of Thomas Hobbes’ *Leviathan* (1651). Two copies of the Head edition at the Nagoya University Library in Japan were examined — a copy of the Osaka University of Economics Library (Call mark: RB206 || 133.23) and another copy of the British Library (Shelfmark: 522 .k.6). Presently, the former copy is the only book other than the one at the Nagoya University Library wherein Japan *The* in the first line is printed in Roman capitals along with a misprinted B at the bottom on Leaf A4.

The survey reveals two points clearly: 1) Two types of watermarks of the ‘Post or Pillar’ design were identified in *Leviathan*, and these sheets were used in many parts of the book. 2) It is highly likely that sheets with a ‘Pot’ watermark design were used in the second half of the printing process in the latter part. Therefore, there is room for various considerations regarding the quires on which this ‘Pot’ design was used in the first half of *Leviathan*. This study also confirms that the page number on p. 171 of the British Library copy were handwritten.

Keywords

Leviathan (『リヴァイアサン』), Head edition (初版 Head版), Watermark (透かし模様)

はじめに

ノエル・マルコムは2012年に出版した*Thomas Hobbes: Leviathan | 1-3 (The Clarendon edition of the works of Thomas Hobbes; v. 3-5)* で、『リヴァイアサン』の出版経緯や異刷・異版の内容などをかなり詳細に紹介している。なかでも、1651年に発刊された初版 (First edition)、これは標題紙で使用されたオーナメントから「Head edition (以下、Head版と記す)」と呼ばれているが、このHead版のVariant (異刷) の内容約350項目²がリスト化されており、『リヴァイアサン』には数多の異刷が存在することを紹介している。

また川又 (2014) では、日本国内所蔵本 (日本大学法学部図書館所蔵本、デジタルデータが公開されている東京大学経済学部図書館所蔵のアダム・スミス旧蔵書本) とBritish Library所蔵2点のうちの1点 (Shelfmark: 522.k.6) のリプリント版との相違点を比較している。これらの相違点は、マルコム (2012) では紹介されていない新たな発見が大変興味深い。

以上のように、『リヴァイアサン』の書誌学的な研究は着実に進められているが、“透かし模様 (watermark)” の比較研究はさほど進められていないのが現状である。川又 (2014) も日本大学法学部図書館所蔵本で確認された透かし模様を紹介しつつ、透かし模様の比較検討の必要性について言及している³が、このような比較をした調査結果について、私見の限りではマルコム (2012) が『リヴァイアサン』の刊本の大きさに言及している箇所の注で簡単に述べられている⁴のみである。

そこで本稿では、名古屋大学附属図書館が所蔵する2点の『リヴァイアサン』(1651年) Head版と、現時点において国内所蔵本で名古屋大学附属図書館所蔵本以外に唯一A折丁のA4の折記号に“B”と印字されていることが確認されている大阪経済大学図書館所蔵本 (請求記号: RB206 || 133.23, 資料ID: 00368905)⁵、およびBritish Library所蔵本 (Shelfmark: 522.k.6) の透かし模様の比較を試みた。なお、これらの刊本はマルコム (2012) によれば、紙葉の大きさが約27.5×18cmのnormal copiesである⁶。また、調査時期・期間等の関係で、大阪経済大学図書館所蔵本 (以下、‘大経大本’ と記す) 及びBritish Library所蔵本 (以下、‘BL本’ と記す) の透かし模様調査については、名古屋大学附属図書館所蔵本の調査より精度が低いことをここに記しておく⁷。

結果として、マルコム (2012) が言及しているとおり、Pot (壺) の模様とPost or Pillar (門柱)⁸の模様の紙が使用されているが、本体部分では多くの透かし模様がPost or Pillarであり、特に前半はその大半がPost or Pillarであること、後半もPost or Pillarの紙が多いものの、最後の約1/3の部分においてPotの紙の使用が多くなる傾向であることが確認された。

なお、この本稿の調査過程において、マルコムや川又らが言及していない印字ミスを発見したので、その比較調査についても記す。

I. 名古屋大学附属図書館所蔵『リヴァイアサン』初版Head版と他館所蔵本との相違点の比較

名古屋大学附属図書館のホップズ・コレクション及び水田文庫には、トマス・ホップズ『リヴァイアサン』の初版3版と言われるHead版、Bear版、Ornament版がそれぞれ1点ずつ収蔵されている。本稿で特に取り上げるのは初版 (真正版ともいわれる) Head版2点である。(①ホップズ・コレクション本: 請求記号: Hobbes I || 156/7, 資料ID: 462N1240, 以下 ‘名大ホップズ本’ と記す、②水田文庫本: 請求記号: Mizuta || 0012, 資料ID: 41496978, 以下 ‘名大水田本’ と記す)。この2点のHead版はVariant (異刷) であり、最大の相違点はA折丁のA4の折記号の有無で、名大ホップズ本は無印字であるが、名大水田本には“B”と印字されていることである⁹。

著者はまず、川又 (2014) が新たに発見したマルコム (2012) で掲載されていないHead版の相違点、及びBL本を初期に印刷された根拠としている相違点について、著者自身が現物調査できたHead版でも追加調査を行いその結果をまとめた (表1¹⁰)。この調査の際にBL本のp. 171のページ番号が手書きで書き込まれていることを発見した。なお、著者が現物調査を行った7点に加え、本稿を執筆時点においてウェブ等で公開されている『リヴァイアサン』Head版8点¹¹についても同ページ番号の印字を

確認したが、BL本以外に手書きされているものは発見できなかった。

表1と川又(2014)の表3とを総合し、かつマルコム(2012)で掲載されている相違点についても検証する必要があるが、この点については今後の課題としたい。

II. 透かし模様 (watermark) の比較：著作の本体

ヒーウッドは、『透かし文様』序論「地域別の透かし文様」5節「イングランドとスコットランド」において、この2国が長期にわたり海外から紙を輸入しており、おおよそ17世紀以前まではノルマンディーやフランス北・中部等の地域からであったと述べている。

「それらの地域では、壺、手と星、葡萄の文様が依然としてめだっていた。この世紀の初期数十年に、その産地をきめにくい2つの文様があり、1つは南西ドイツで用いられたものをたぶん模造したと思われる組合せ紋〔四等分紋〕、もう1つは（アウグスブルクの紋様にみられるような）葡萄の房かモミノキの毬果のいずれかを意味すると思われる図案のついた一対の門柱（Gate-Posts）である。」¹²

1651年出版に出版された『リヴァイアサン』Head本文の透かし模様はこの特徴がよく出ている。ヒーウッドがPost or Pillarと分類する“門柱”に葡萄を伴っている模様の紙が多くを占めている可能性が高いこと、及び、Potの模様の紙が後半の最後の1/3でよく使用されている傾向があることを「はじめに」で紹介したが、その調査結果を『『リヴァイアサン』初版Head版 透かし模様の比較表』にまとめた（表2）。

この表は著者が現物調査を行った4点の『リヴァイアサン』の透かし模様を各折丁ごとにまとめたものである。BLはBL本を、NU_Hobbes Iは名大ホップズ本を、NU_Mizutaは名大水田本を、OUEは大経大本を示している。「はじめに」でも述べたように、名大所蔵本2点については時間をかけて調査できたため刊本全体の透かし模様を確定できているが、BL本、大経大本については追加の確定調査が必要な箇所がある。「P or P?」など「?」がついている箇所は模様が確定できないがおそらくその模様であろうという場合に使用した（ただし、名大ホップズ本のZ折丁を除く。当該折丁の模様はPotであると考えられるが、上部に三日月がなく、また壺の土台が四角いことから、ほかの折丁のPotと模様が明らかに異なっているが把手の部分がはっきりと確認できないため「Pot?」と表記した）。また「-」については、その紙葉が存在していないことを表す。

高野(2016)によれば、前半のsig. A-2B⁴（標題紙から第II部まで）を印刷したのはトマス・ワレンで、後半のsig. 2C-3D⁴（第III部、および第IV部）を印刷したのがリチャード・コーツである。今回調査した結果では、以下のような傾向がみられた。

- 1) 前半の折丁の透かし模様のほとんどはPost or Pillarであり、例外はA折丁、Y折丁、Z折丁となった。
- 2) 後半では最初から2T折丁までの透かし模様のほとんどはPost or Pillarであったが、2V折丁以降はPotの透かし模様が多く確認され、最終のsig. 3B-3D⁴ではPost or PillarとPotが混在する傾向であった。
- 3) 今回調査した4点の折り込みページである第9章の「Science, that is, Knowledge of Consequences; which is called also Philosophy（ホップズの科学（哲学）に関する樹形図）」の透かし模様は全てPost or Pillarであった。
- 4) 今回調査した結果、Post or PillarもPotも少なくとも2種類の模様があることが確認された。Post or Pillarについてはtableが最も確認しやすかったため、各刊本の透かし模様を図1-6として掲載した。比較すると図5、6と図1、3は別の模様のPost or Pillarであることがわかる。

なお、図5、6とBL本の第9章表の透かし模様は同じであった。この2種類のPost or Pillarの模様は、葡萄の下の部分の形や、門柱の間の下の模様、また門柱の上下の模様の幅などが異なっている。図4は名大ホップズ本の本文で最も鮮明に撮影できたPost or Pillarの模様である。この模様は、図2と同じ模様であることが確認できる。図1、3と図2、4の模様は非常によく似ている。おそらく別の模様であるが、現時点では確定が難しいため断言は避けたいと考える。Potについては鮮明な写真が撮影できなかったため、名大所蔵本2点で確認できたPotの縦の長さを計測したところ、約8.5cmの模様と、約10cmの模様の2種類が確認された。Potの模様としては、次章で紹介する名大ホップズ本のRear flyleaf (図8) で確認できるトップに三日月を配置し片方に把手があるデザインと酷似している。

マルコム (2012) によれば、ホップズの指示により前半と後半に分けて作業を開始する手順となった¹³が、例えば前半部分は2B折丁までにできる限りいびつな空白を設けずに文章を割り付ける必要があるため、前半は第I部の最初から、後半は第III部の最初から作業が開始された。従って、基本的には印刷される順番は前半部分はB折丁→C折丁→D折丁…、後半部分は2C折丁→2D折丁→2E折丁…であった¹⁴。ただし、A折丁は標題紙、献辞以外に、Errata (正誤表) を含む目次が印刷されているので、本体印刷作業の工程では最終の段階で印字されたと推定される。

また、マルコムは『リヴァイアサン』で最後に印刷されたのはp. 41とp. 42の間に挟み込むようにと指示された第9章「ホップズの科学 (哲学) に関する樹形図」であると述べる。これは、この表の最も下の部分に「Place this Table between folio 40. and 41.」及び「con」と「; as」が印字されているからで、印刷業者の意図としてはこの印字されている部分を切り離し、「con」と「; as」はそれぞれp. 88の1行目「perform」を「conform」に、p. 108の第3パラグラフの1行目「Consistent : As」を「consistent ; as」に修正するためのキャンセル・スリップであった¹⁵。なお余談ではあるが、実際にこの2枚のキャンセル・スリップが正確に貼られている刊本は確認できた15点中2点しかなかったとマルコムは述べている¹⁶。著者が調べた15点の刊本 (現物調査7点、デジタルデータ8点) のうち、バイエルン州立図書館の所蔵本にキャンセル・スリップの貼付が確認できた。また、Large-paper本であることが明らかであるケンブリッジ大学所蔵本 (Classmark: Syn.3.65.1) ではp. 108のキャンセル・スリップが貼付されていること、本の大きさが不明であるが、修正が反映されている刊本 (デジタルデータで公開されているSmithsonian Libraries本、Tisch Library本及びアウグスト公図書館本では「consistent : As」と修正されている) も確認できた。このp. 108はPl^vに印刷されている。

では、この透かし模様の調査から何が言えるのであろうか。第1に『リヴァイアサン』の印刷用紙は全体としてみた場合、Post or Pillar模様の紙が多く使用されていることに加え、使用されている模様がPost or Pillar模様の紙とPot模様の紙であることから、2つの印刷所で使用された紙は同一時期に同一提供元から入手された可能性が高いということである。むしろ、Post or Pillar模様の紙とPot模様の紙は別の製紙業者が作成したものであろうが、作成を始めた段階で2つの印刷所で使用された紙は同一の提供元の製品である可能性が高いということである。

第2に、折丁の中で全体としてPotの模様の紙が使用されている箇所は、印刷工程から考えると印刷作業後半にプリントされた可能性が高いということである。A折丁の目次とErrataのページであるA3の透かし模様がPotであることから、この傾向がうかがえる。このように仮定すると、特にZ折丁 (pp. 171-178, 第29章途中から第30章の途中までが印刷されている) がPot模様の紙で印刷されていることが非常に興味深い。今後の調査で他の刊本でもZ折丁の透かし模様がPotであることが多い場合、この折丁そのものが終盤に修正されたのか、もしくは最後に印刷が回された可能性がより高くなると考えられる。BL本のp. 171のページ番号が手書きであることも踏まえると今後の比較検討の余地があるのではないかと考える。なお、Post or Pillar模様とPotの模様の用紙が混じっている折丁が存在

することも何らかの検討が必要である¹⁷。

さらに、BL本のp. 171のページ番号が手書きであったこと、また他の刊本で修正されているミスが修正されていない箇所が多いことからどのような経緯でBritish Libraryに所蔵されたのかを知りたいと考え、BL本の所蔵経緯をBritish Libraryに問い合わせた。回答としては、①所蔵経緯は不明であること、②ただし、標題紙裏面(A1^v)にBritish Libraryの蔵書印が押印されていること、以上2点からBritish Libraryのこれまでの調査により、1753年から1836年に収蔵された可能性が高い、とのことであった。British Libraryの蔵書印についてはBritish Libraryが調査した内容がホームページで公開されている¹⁸が、使用されたインクの色で所蔵由来がある程度わかるようである。BL本は赤色のインクで押印された四角い蔵書印であるので「Red」の項目に該当する。

Ⅲ. 口絵 (illustrations) 及び遊び紙 (flyleaf) の透かし模様

ヒーウッドは『透かし文様』序論で『リヴァイアサン』初版Head版の標題紙について「1651年の刊記があるのに、銅彫版によるタイトルページの透かし模様は特異な形のユリ紋(1595図)で、その本の他の部分のどこにもないものである。」¹⁹と述べているが、“その本の他の部分のどこにもない”ことは筆者もBL本で直接確認した。また、筆者が現物調査したBL本以外の『リヴァイアサン』Head版6点のうちで、口絵の透かし模様がこの1595図である刊本はケンブリッジ大学本(Williams 426)のみであった。川又(2014)に掲載されている図3. Fleur-de-lisと同じ模様ではないかと考えられるが、大きさや模様の詳細を比較していない現状では同一とは断定できない。

また参考までに、本体前後に綴じられていた遊び紙の透かし模様がはっきりと撮影できたので紹介したい。いずれも名大ホップズ本で、図7はFront flyleafで確認できたHorn(角笛)の模様で、図8はRear flyleafで確認できたPotである。遊び紙は製本の段階で付け加えられる紙であることが多いので、本文の印刷用紙と同一の時代の用紙であるとは言えないが、透かし模様の一例として紹介する。ちなみに、図8のPotには‘N R O’の文字が明瞭に確認できる。これは製紙業者の略語であるが、確定調査は今後の課題となる²⁰。

名古屋大学附属図書館が所蔵するBear版(2点)、Ornament版(2点)の透かし模様についても簡易ではあるが調査したのでその結果を記しておきたい。マルコムによればBear版は発行年代の確定が難しい第2版(Second edition)であり、Ornament版はホップズの死後である1700年前後に発行された第3版である²¹。いずれもいわゆる海賊版である。Bear版にはヒーウッドがCircleと分類する模様やPotの模様が確認できた。いずれも今回調査したHead版では確認できなかった模様であった。またOrnament版の本体では透かし模様は明確には確認できなかった。

おわりに

本稿では、名古屋大学附属図書館が所蔵する『リヴァイアサン』初版Head版を中心に透かし模様の調査を行った結果、①『リヴァイアサン』ではPost or Pillar模様の紙が少なくとも2種類あることが確認され、かつ本体の多くの部分でこの用紙が使用されていること、また印刷工程の後半ではPotの模様の紙が使用された可能性が高いこと、②Potの模様の紙が使用されている箇所は、印刷工程から考えると印刷作業後半にプリントされた可能性が高いので、Potの模様が多く確認された折丁に関しては修正内容・印刷時期といった観点から検討する必要があること、この2点を確認された。今後、ほかの刊本の透かし模様を調査して事例を積み上げると、これらの傾向の精度が高まることが期待される。

最後に、本稿の執筆に際して、名古屋大学大学院経済学研究科・長尾伸一名誉教授、桃山学院大学大学院経済学研究科・梅田百合香教授、松山大学人文学部・福田名津子准教授にご指導いただきまし

た。また、高野 彰氏（元跡見学園女子大学教授）、中井えり子氏（元名古屋大学大学院経済学研究科研究員）両氏には本稿の仔細について多大なご助言をいただきました。さらに、峯岸ななえ氏（名古屋大学附属図書館情報サービス課課長補佐）及び同情報サービス課のスタッフの方々に多大なご協力・ご助言をいただきました。ここに深く感謝申し上げます。

本研究は、科研費基盤研究（B）「啓蒙の言説圏と浮動する知の境界：貴重書・手稿・デジタル資料を総合した18世紀研究」（課題番号19H01200）の助成を受けたものです。

注

- 1 本稿では、Watermarkの訳語として‘模様’という訳語を使用する。ヒーウッド（1950）の訳本『透かし文様』（1987）では‘文様’と訳しているが、高野 彰『洋書の話 第二版』（朗文堂、2014）などで‘透かし模様’の使用が一般的であると判断したためである。
- 2 Malcolm（2012）, vol. 3, Register of In-Press Variants（English）及びRegister of Literal Faults（English）の項目を足し合わせた数。ただし、川又（2014）が着目しているp. 71の“two”は本文中に言及されているためかリストになかった。ほかに、“-（ハイフン）の表記揺れがあるリスト”などが掲載されているが、この数には含んでいない。
- 3 川又（2014）, p. 43.
- 4 Malcolm（2012）, vol. 1, p. 224, note 102.
- 5 高野（2016）, 表4を参照。
- 6 Malcolm（2012）, vol. 1, pp. 222-226, p. 327.『リヴァイアサン』はlarge-paper copies（紙葉の大きさが約32×21cmもしくは約33.5×22cm）が存在する。マルコムによれば、large-paper copiesはホップズの近い人物への献本等として作成されたため発行部数は少ないが、テキスト的にはnormal copiesの修正が反映されている初版（Head版）の完成形である（ただし植字ミス等がないわけではない）とされる。
- 7 今後、今回の調査結果を踏まえてより詳細な調査を加えたり、他機関の所蔵本についても比較点数を増やすことが望ましいと考える。
- 8 Malcolm（2012）, vol. 1, p. 224, note 102では門柱を‘POST’と表記しているが、ヒーウッド（1950）は‘Post or Pillar’と分類しているので、本稿では‘Post or Pillar’と統一して表記する。
- 9 高野（2022）を参照。
- 10 高野（2016）, 表4の中でPforzheimer; Aaa3とあるが、これはAa3であると高野氏に確認した。
- 11 この8点については、本文末の「ウェブで公開されている刊本（8点）」を参照。なおこの8点のうち、5）プリンストン大学本のみ3A3の折り記号が「Aa3」であった。
- 12 Heawood（1950）, p. 26; 訳書（1987）, p. 16.
- 13 Malcolm（2012）, vol. 1, p. 211では第三章で分けた正確な理由ははっきりとしていないと述べている。しかし、p. 213では印刷作業の効率上昇のためホップズと印刷契約を結んでいた出版社クルックが2つの印刷所（ワレンとコート）へ印刷作業を依頼したと指摘している。これ以外の理由としては、盗用への対策などがあるが、『リヴァイアサン』の印刷作業中はホップズがパリに亡命してゲラの校正を郵送で行っていた（校正がホップズから返却されるまでに少なくとも3週間はかかったとある）ことを考えると、分割印刷については作業を効率的に進めることが最大の目的であったことは否めない。
- 14 Malcolm（2012）, vol. 1, pp. 211-217では当時の印刷習慣などを踏まえた『リヴァイアサン』の作業工程などが紹介されている。
- 15 Malcolm（2012）, vol. 1, pp. 217-218及びp. 223. 特にp. 88の「conform」への修正は、Errataでは「forme」への修正となっているので、ホップズの強い修正意思の表れであったとマルコムは指摘

している。

- 16 Malcolm (2012), vol. 1, p. 224. マルコムが異版調査を行っているのは主にイギリス国内の所蔵本である。
- 17 今回調査したPost or Pillar模様であるが、ブリケ (1923) では確認できない。ヒーウッド (1947) はPillar or Postの模様は17世紀前半のイギリスの文章でよく見られる模様の1つであると指摘している。
- 18 <https://www.bl.uk/help/guide-to-provenance-research-with-printed-books>.
- 19 Heawood (1950), p. 30: 訳書 (1987), p. 21. 川又 (2014) も指摘しているが、訳本はこの図版番号が誤って1592図とされ、かつ1592図が参考としてこのページに掲載されているので注意されたい。
- 20 Heawood (1947). この論文でヒーウッドは17世紀イギリスで使用された紙で確認された3文字の製紙業者の研究結果を紹介している。p. 125に 'NRO' を含む 'RO' という文字が入った製紙業者名について述べているが、ROと表記できる製紙業者は複数存在するため確定が難しいと延べている。
- 21 Malcolm (2012), vol. 1, pp. 226-228, pp. 258-260. Bear版、Ornament版の特徴などは同書の「The Bear Edition」及び「The Ornament Edition」の章を参照されたい。

現物調査をした刊本 (7点)

- ・名古屋大学附属図書館所蔵本 (2点):
 - 名大ホップズ本: 請求記号: Hobbes I || 156/7, 資料ID: 462N1240.
 - 名大水田本: 請求記号: Mizuta || 0012, 資料ID: 41496978.
- ・大阪経済大学図書館所蔵本: 請求記号: RB206 || 133.23, 資料ID: 00368905.
- ・British Library所蔵本: Shelfmark: General Reference Collection 522.k.6.
- ・ケンブリッジ大学図書館所蔵本 (3点)
 - Classmark: Syn.3.65.1; N.2.9; Williams 426.

ウェブで公開されている刊本 (8点): 2023年1月30日現在で公開を確認

- 1) 東京大学 経済学図書館・経済学部資料室所蔵本: アダム・スミス文庫収蔵、請求記号: アダムスミス: 56, 登録番号: 5513435924.
http://ut-elib.sakura.ne.jp/digitalarchive_02/smith/5513435924.pdf
- 2) Bayerische Staatsbibliothek
https://books.google.co.jp/books?id=3VddAAAACAAJ&pg=PP9&hl=ja&source=gbs_selected_pages&cad=2#v=onepage&q&f=false
- 3) Herzog August Bibliothek
<http://diglib.hab.de/drucke/sf-4f-5/start.htm>
- 4) Österreichische Nationalbibliothek所蔵本 (Google Books)
<https://books.google.co.jp/books?id=INVYAAAACAAJ&hl=ja&pg=PP9#v=onepage&q&f=false>
- 5) Princeton University Library所蔵本
<https://catalog.princeton.edu/catalog/9944618223506421#view>
- 6) Smithsonian Libraries所蔵本
<https://archive.org/details/leviathan00hobba/page/2/mode/2up> (Internet Archives)
- 7) Tisch Library Special Collections (with signed 'B')
https://archive.org/details/leviathanormatte00hobb_3 (Internet Archives)
- 8) Yale University所蔵本 (EEBO)

参考文献

- Briquet, Charles M., *Les Filigranes: Dictionnaire Historique des Marques Papier, tom. 1-4*, Hildesheim ; New York : Georg Olms , 1923, reprinted 1977.
- Heawood, Edward, “Further Notes on Paper used in England after 1600 (In continuation of articles in *The Library*, December 1930, March 1931), *The Library*, s5-II (2-3), pp.119-149, 1947.
- , *Watermarks Mainly of the 17th and 18th Centuries*, The Paper Publications Society: Hilversum (Holland), 1950 (エドワード・ヒーウッド (久米康生, 増田勝彦訳) 『透かし文様：主として17～18世紀』、雄松堂出版、1987) .
- Malcolm, Noel ed., *Thomas Hobbes: Leviathan | 1-3 (The Clarendon edition of the works of Thomas Hobbes; v. 3-5)*, Oxford University Press, 2012.
- 梅田百合香 『ホッブズ リヴァイアサン』 角川選書、2022.
- 川又 祐 「ホッブズ 『リヴァイアサン』 初版Head版 (一六五一年) の異刷について」、『政経研究』 2014, vol. 51, no. 1, pp. 31-48.
- 高野 彰 「トマス・ワレン：『リヴァイアサン』 (ヘッド版) の印刷者」、『名古屋大学附属図書館研究年報』 2016, vol. 13, pp. 1-17.
- 「折記号が示す洋古書の姿」、『一橋大学社会科学古典資料センター Study Series - 西洋古典籍を巡る書誌と資料研究法の現在』 2022, no. 80, pp. 7-23.
- トマス・ホッブズ (水田 洋訳) 『リヴァイアサン』 岩波文庫、1992年改訂.

表 1. 『リヴァイアサン』初版 (1651) Head版各版相違箇所比較表

相違箇所	British Library本 (522.k.6)	名大本 (Hobbes I 156/7)	名大本 (Mizuta 0012)	大阪経済大学 図書館本 (RB206 133.23)	ケンブリッジ大学本 (Syn.3.65.1)	ケンブリッジ大学本 (N.2.9)	ケンブリッジ大学本 (Williams 426)
signature of [A4]	[A4]	[A4]	A4 signed 'B'	A4 signed 'B'	[A4]	[A4]	[A4]
p.29 (E2 ^v). par.2.1.8	from Deliberation.	from Deliberation	from Deliberation	from Deliberation.	from Deliberation	from Deliberation	from Deliberation
p.71 (K3 ^v). par.2.last line.	two	too	too	two	too	too	too
p.108 (P1 ^v). par.3.1.5-6.	inclination [new line]	inclination pro-ceedeth	inclination pro-ceedeth	inclination [new line]	inclination [new line]	inclination [new line]	inclination pro-ceedeth
p.108 (P1 ^v). par.3.1.6-7.	another caufe, [new line]	another caufe, which cau-fes	another caufe, which cau-fes	another caufe, [new line]	another caufe, [new line]	another caufe, [new line]	another caufe, which cau-fes
p.171 (Z1 ^v) pagnation	handwriting	printed	printed	printed	printed	printed	printed
p.318 (S1 ^v). 1.8 from below.	that	that	that	that	that	that	that
p.330 (Tt3 ^v). catch word.	thing ^s .	things.	things.	things	things.	things.	things.
p.331 (Tt4 ^v). 1.1.	things.	things.	things.	things	things.	things.	things.
p.369 (Aaa3 ^v)	Aaa3	Aaa3	Aaa3	Aaa3	Aaa3	Aaa3	Aaa3

注) 二重線の前後で印刷業者が異なっている。詳しくは、高野 (2016) を参照。

表2. 『リヴァイアサン』初版Head版 透かし文様の比較表

※注：折り記号は印字されている文字で表記した。本表は筆者が各資料の透かし模様を実際に確認して作成したため、透かし模様是否存在を確認できるものの形が全く判別できなかった箇所については空白となっている。また、判別が難しいが模様の特徴が捉えられたものについては「？」をつけた。

	A				B				C				D			
	Title page (A1)	A2	A3	A4 (p.1)	B1	B2	B3	B4	C1	C2	C3	C4	D1	D2	D3	D4
BL	Fleur	Pot	Pot							P or P			P or P	P or P		
NU Hobbes I	P or P					P or P		P or P		P or P			P or P	P or P		
NU Mizuta	P or P		Pot	(‘B’)	P or P		P or P		P or P				P or P	P or P		
OUE			Pot	(‘B’)	P or P ?								P or P ?			
	E				F				G				H			
	E1	E2	E3	E4	F1	F2	F3	F4	G1	G2	G3	G4	H1	H2	H3	H4
BL						P or P										
NU Hobbes I	P or P		P or P			P or P		P or P				P or P	P or P		P or P	
NU Mizuta			P or P	P or P		P or P		P or P		P or P		P or P	P or P		P or P	
OUE		P or P														
	I				K				L				M			
	I1	I2	I3	I4	K1	K2	K3	K4	L1	L2	L3	L4	M1	M2	M3	M4
BL								P or P							P or P	
NU Hobbes I		P or P		P or P	P or P	P or P					P or P		P or P		P or P	
NU Mizuta	P or P		P or P		P or P	P or P		P or P			P or P		P or P	P or P		
OUE															P or P	
	N				O				P				Q			
	N1	N2	N3	N4	O1	O2	O3	O4	P1	P2	P3	P4	Q1	Q2	Q3	Q4
BL													P or P			
NU Hobbes I		P or P		P or P	P or P	P or P						P or P	P or P	P or P		
NU Mizuta			P or P	P or P	P or P	P or P		P or P					P or P		P or P	
OUE				P or P											P or P	
	R				S				T				U			
	R1	R2	R3	R4	S1	S2	S3	S4	T1	T2	T3	T4	U1	U2	U3	U4
BL				P or P	P or P				P or P				P or P			
NU Hobbes I			P or P	P or P	P or P	P or P		P or P	P or P				P or P		P or P	P or P
NU Mizuta		P or P		P or P	P or P	P or P		P or P	P or P				P or P		P or P	P or P
OUE		P or P		P or P	P or P	P or P		P or P	P or P ?				P or P			
	X				Y				Z				Aa			
	X1	X2	X3	X4	Y1	Y2	Y3	Y4	Z1	Z2	Z3	Z4	Aa1	Aa2	Aa3	Aa4
BL	P or P				Pot		P or P	Pot	Pot ?				P or P			
NU Hobbes I					Pot		P or P	Pot					P or P			
NU Mizuta		P or P	P or P	P or P	Pot		P or P	Pot					P or P	P or P	P or P	P or P
OUE				P or P					Pot		Pot					P or P
	Bb				Cc				Dd				Ee			
	Bb1	Bb2	Bb3	Bb4	Cc1	Cc2	Cc3	Cc4	Dd1	Dd2	Dd3	Dd4	Ee1	Ee2	Ee3	Ee4
BL																
NU Hobbes I	P or P	P or P											P or P	P or P		
NU Mizuta	P or P												P or P	P or P		
OUE			P or P													
	Gg				Hh				Ii				Kk			
	Gg1	Gg2	Gg3	Gg4	Hh1	Hh2	Hh3	Hh4	Ii1	Ii2	Ii3	Ii4	Kk1	Kk2	Kk3	Kk4
BL	Pot				P or P								P or P			
NU Hobbes I			P or P		P or P		P or P			P or P			P or P			
NU Mizuta			P or P	P or P	P or P		P or P			P or P			P or P			
OUE				P or P	P or P		P or P						P or P			P or P
	Ll				Mm				Nn				Oo			
	Ll1	Ll2	Ll3	Ll4	Mm1	Mm2	Mm3	Mm4	Nn1	Nn2	Nn3	Nn4	Oo1	Oo2	Oo3	Oo4
BL					P or P											
NU Hobbes I		P or P	P or P	P or P	P or P		P or P							P or P		P or P
NU Mizuta	P or P		P or P		P or P		P or P			P or P				P or P		P or P
OUE																P or P
	Pp				Qq				Rr				Sf			
	Pp1	Pp2	Pp3	Pp4	Qq1	Qq2	Qq3	Qq4	Rr1	Rr2	Rr3	Rr4	Sf1	Sf2	Sf3	Sf4
BL	P or P							P or P								
NU Hobbes I	P or P							P or P	P or P	P or P			P or P		P or P	
NU Mizuta		P or P	P or P	P or P				P or P	P or P	P or P			P or P		P or P	P or P
OUE				P or P												P or P
	Tt				Vv				Xx				Yy			
	Tt1	Tt2	Tt3	Tt4	Vv1	Vv2	Vv3	Vv4	Xx1	Xx2	Xx3	Xx4	Yy1	Yy2	Yy3	Yy4
BL																
NU Hobbes I		P or P	P or P	P or P			Pot	Pot	Pot					Pot		Pot
NU Mizuta		P or P	P or P	P or P	Pot		Pot	Pot	Pot				Pot	Pot		Pot
OUE			P or P							Pot		Pot				
	Zz				Aaa				Bbb				Ccc			
	Zz1	Zz2	Zz3	Zz4	Aaa1	Aaa2	Aaa3	Aaa4	Bbb1	Bbb2	Bbb3	Bbb4	Ccc1	Ccc2	Ccc3	Ccc4
BL					Pot				Pot							P or P
NU Hobbes I					Pot				Pot	Pot			P or P			P or P
NU Mizuta	Pot		Pot		Pot	Pot	Pot		Pot	Pot	Pot		P or P	P or P		P or P
OUE			Pot											P or P		P or P
	Ddd				Front flyleaf	Plate	Table (Folded)	Rear flyleaf								
	Ddd1	Ddd2	Ddd3	Ddd4	—	Fleur-de-Lis	P or P	—								
BL							P or P									
NU Hobbes I		P or P			Horn		P or P									
NU Mizuta		P or P					P or P									
OUE				Pot			P or P									

BL: British Library (Shelfmark: General Reference Collection 522.k.6)
 NU_Hobbes I: Nagoya University Library, Hobbes Collection I (Call no.: Hobbes I || 156/7)
 NU_Mizuta: Nagoya University Library, Mizuta Library (Call no.: Mizuta || 0012)

OUE: Osaka University of Economics (Call mark: RB206 || 133.23)
 ※P or P: Post or Pillar
 —: not bound.

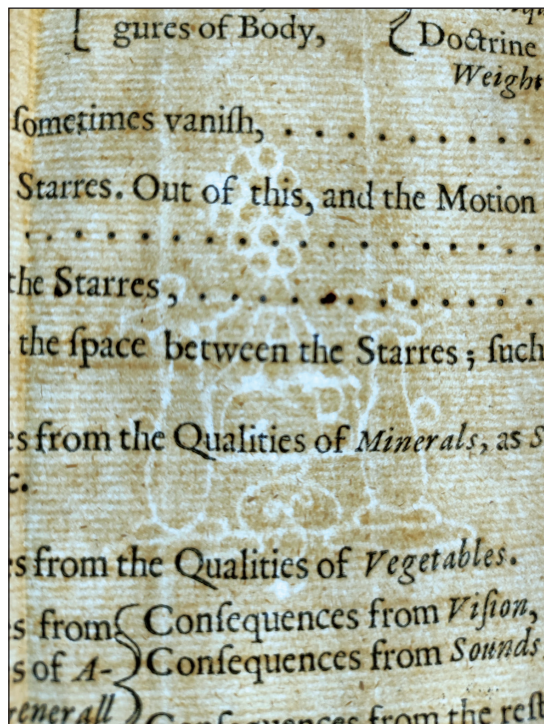


図 1. Watermark_table.
 (名古屋大学附属図書館所蔵、
 請求記号: Hobbes I || 156/7, 資料ID: 462N1240)

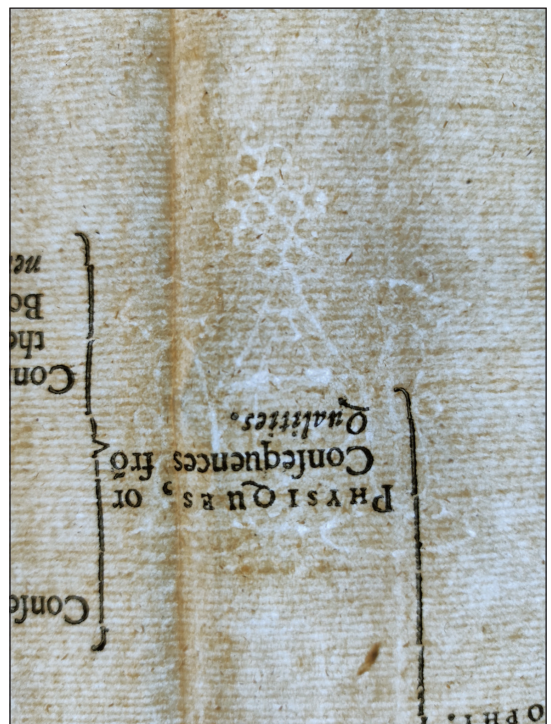


図 2. Watermark_table.
 (名古屋大学附属図書館所蔵、
 請求記号: Mizuta || 0012, 資料ID: 41496978)
 注: この図は比較のため、用紙の上下が逆となっている。

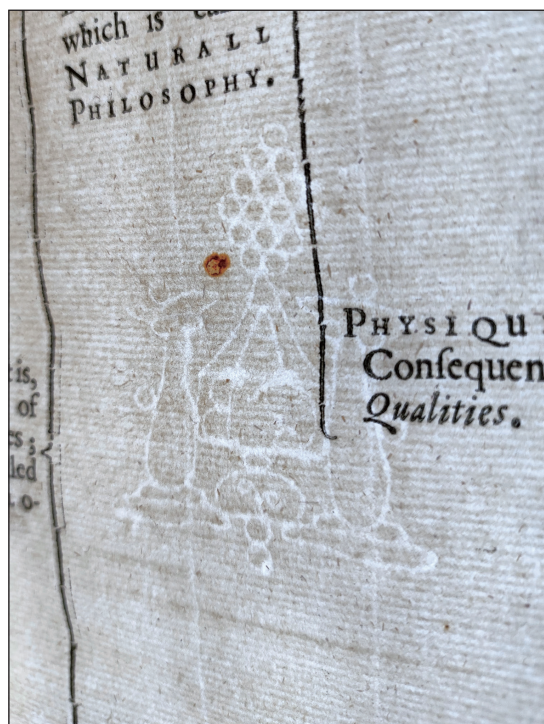


図 3. Watermark_table.
 (大阪経済大学図書館所蔵、
 請求記号: RB206 || 133.23, 資料ID: 00368905)
 注: 他の図よりも斜めから撮影されている。

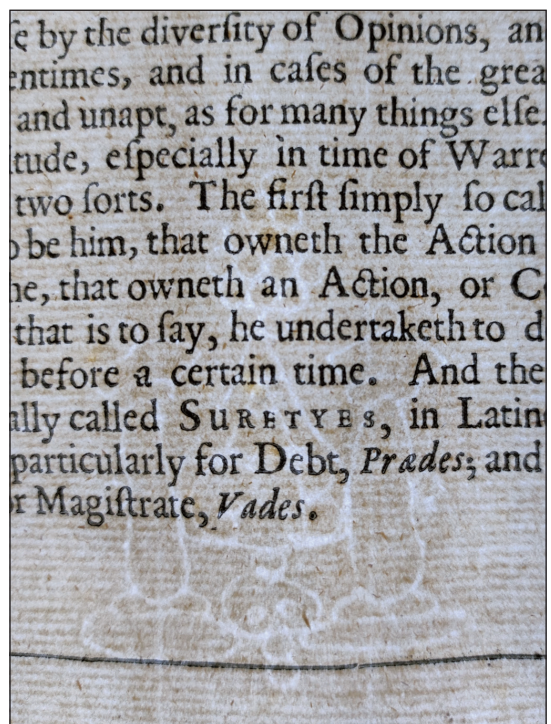


図 4. Watermark_M1' (p. 83).
 (名古屋大学附属図書館所蔵、
 請求記号: Hobbes I || 156/7, 資料ID: 462N1240)

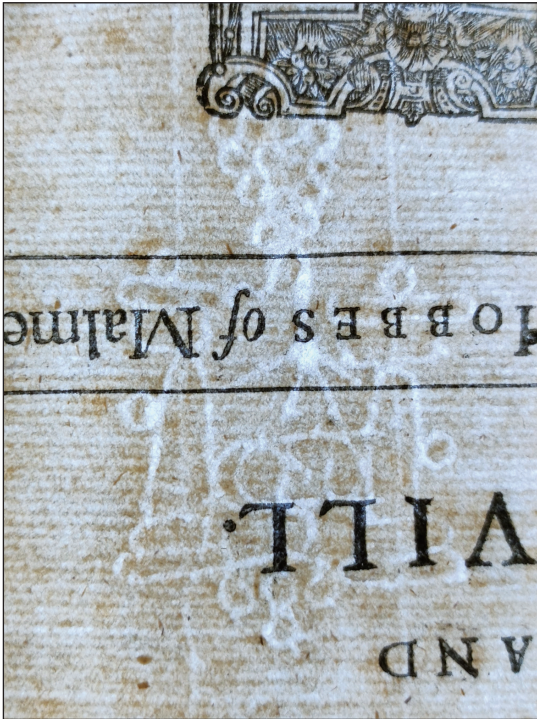


図 5. Watermark_title-page.

(名古屋大学附属図書館所蔵、

Hobbes I || 156/7, 資料ID: 462N1240)

注: この図は比較のため、用紙の上下が逆となっている。



図 6. Watermark_title-page.

(名古屋大学附属図書館所蔵、

請求記号: Mizuta || 0012, 資料ID: 41496978)

注: この図は比較のため、用紙の上下が逆となっている。



図 7. Watermark_Front flyleaf

(名古屋大学附属図書館所蔵、

Hobbes I || 156/7, 資料ID: 462N1240)



図 8. Watermark_Rear flyleaf

(名古屋大学附属図書館所蔵、

Hobbes I || 156/7, 資料ID: 462N1240)